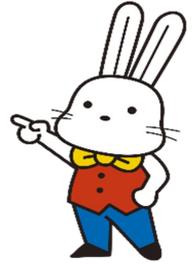


飯坂消防だより



令和4年秋季福島市火災予防運動 11月9日から11月15日まで

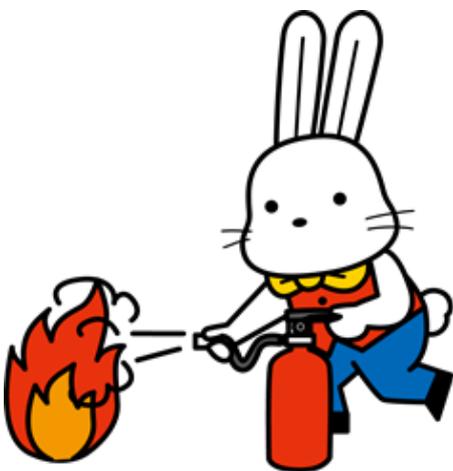
この運動は、火災が起こりやすい季節を迎えるにあたり、火災予防思想の一層の普及を図り、火災の発生を防止し、万が一火災が発生した場合にも被害を最小限にとどめ、火災による犠牲者の発生を減少させることを目的としています。

これを機に、皆さんも火災について考え、火災を予防しましょう。

2022年度全国統一防火標語
「お出かけは マスク戸締り
火の用心」



一人ひとりが消防士！自分でできる火災予防！



- ① 調理中は絶対にその場を離れない。
離れるときは必ず火を消すこと。
- ② 電気器具類の発熱注意。
見えないところで発火することも。
- ③ 長い時間をかけて火災になる
「たばこ」による火災の怖さを知ろう。
- ④ ストーブの周りは常に警戒。
離れるときは必ず火を消すこと。
- ⑤ 家の周りに燃えやすいものを置かず、
ゴミは指定日に出す。放火をさせない！

住宅用火災警報器は設置してありますか？

住宅用火災警報器は、就寝中火災が発生したときに、皆さんの命を守る警報器です。

まだ設置されていない方は、早めの設置をお願いします。

また、設置後10年経過するとバッテリーが切れたり不具合が起きる可能性があり、せっかく設置しているのに作動しないと意味がありません。定期的にボタンを押すか紐を引くなどして点検してください。



高齢者の皆様へ

「住宅用火災警報器は設置したいが、天井に手が届かないので、設置できない」とお悩みの方は、消防署で取付けの支援を行っていますので、最寄りの消防署へご相談ください。

寒い季節、ヒートショックに注意しましょう！

ヒートショックってなに？

「ヒートショック」とは、寒い季節の入浴時など、体に急激な温度の変化を受けた時に、血圧が大きく変動し体に不調を起こす病気のことです。

入浴時に体の不調を起こし救急搬送される患者のうち、8割が65歳以上の高齢者の方といわれております。

「ヒートショック」を予防するため、次のことに注意しましょう。

- ◎ 飲酒後や食事直後の入浴は避ける。
- ◎ 浴室、脱衣所を温めてから入る。
- ◎ かけ湯などをして徐々に体を温めて入る。
- ◎ 熱い風呂への長時間入浴をしない。

